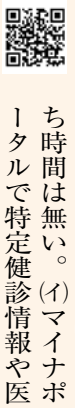


マイナンバーカードの普及促進に向けて

宮下 誠 (公明党)



(ア)本市におけるマイナンバーカードの交付状況は、(イ)健康保険証として10月から本格運用される。どのようなメリットがあるか。(ウ)図書カードとしての利用や自治体マイナンバー事業を行わないか。

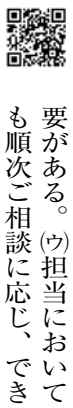
課長 (ア)直近の交付率は7月時点で36・9%、1年前と比べると15・1%増えている。全国平均は35・9%であり遜色はない。市民が交付を申請してからほぼ1か月で通知書を送付している。また、カードの受取については、予約サイトから予約し、交付専用窓口まで来庁いただいております。待ち時間は無い。(イ)マイナンバーカードで特定健診情報や医療費通知情報等の閲覧や、医療費控除の手続きができる。限度額適用証を持参しなくとも、高額療養費制度における限度額超過の支払い免除ができるようになる。

市長 (ウ)貴重な提案をいただき感謝する。市町村長による確かな本人確認を経て発行される、最高位の公的な本人確認ツールであるマイナンバーカードの普及拡大が、社会全体のデジタル化の鍵を握っている。社会のインフラとして様々な施策を実施していく上で要となるので、市として普及促進に引き続き努めていく。



豪雨災害の対策の強化を求める

森戸よう子 (日本共産党)



①近年、線状降水帯のような豪雨に対し、抜本的な対応を検討していくことが必要であり、東京都の豪雨対策基本方針も改定されている。(ア)小金井市内では内水氾濫となるが、土のうの配備など市が対策を検討しないか。(イ)氾濫後の消毒の体制はどのようになっているか。(ウ)市の防災マップの認識を深める説明会を地域ごとに開催しないか。(エ)既に設置されている避難所の運営協議会を拡大しないか。

部長 (ア)内部でどのような形ができるか研究したい。(イ)内水氾濫による消毒方法については精査していく必要がある。(ウ)担当においても順次ご相談に応じ、できる限りの対応をしたい。(エ)サポートできることは引き続き行っていく。

②都市計画マスタープラン(案)に都市計画道路の整備を述べるのであれば、(ア)市は交通量調査を行った上で検討すべきだ。(イ)パブリックコメントなどで、多くの市民が自然を守って欲しいと求めている。これら声を尊重して対応すべきではないか。

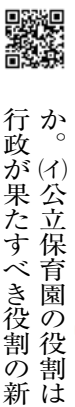
部長 (ア)第4次事業化計画で都市計画道路の必要性が検証されている。

市長 (イ)道路交通の方針について修正を検討している。



すこやか保育ビジョンの活用に必要な取り組み

岸田正義 (みらい)



市民参加で2年25回に及ぶ会議を積み重ね策定された小金井市すこやか保育ビジョンは、課題である新たな保育業務の総合的見直し方針案の可否に関わらず、取組を進めなければならぬ。公立保育園の役割は保育ガイドラインの行政が果たすべき役割と新たな仕組みの中にも含まれ、その取組を実現するために巡回保育支援チームを設置して市全体の保育の質の向上を図り、保育ビジョンを具現化していくことが全く説明できていない。(ア)対話がなければ、これ以上先に進めることは難しい。対話はできているか。(イ)公立保育園の役割は行政が果たすべき役割の新たな仕組みを活用しながら市が担うのか。(ウ)巡回保育支援チームの目的は。(エ)現在の計画では甚だ足りない。保育ビジョン策定の目的や思い、それにより何がかわるのかを本気で周知すべき。

部長 (ア)直接の説明等が行われていない現状。(イ)公立園個別の対応ではなく、新たな仕組みにより市が全体を支えていく。(ウ)保育士OBや公立の保育士を活用し、市内保育園の連携強化や各園の支援を行う。(エ)単に段階的縮小ではなく市の保育をより良くするためのビジョンで、そのための見直しであることを説明する。

持続可能な社会へごみ減量と緑地保全を

安田けいこ (生活者ネット)



①地球温暖化が進み、環境共生社会への取組が求められる。ごみ減量の取組について。(ア)市内のごみ減量の取組は。(イ)新設される貫井北町の中間処理場に、リユース品を扱う施設を開設することは必須ではないか。(ウ)ペットボトル排出抑制のため、運動施設などに給水スポットを設置しないか。

部長 (ア)施設ごみゼロ化行動基本計画に基づき、部会ごとに行動実施計画を定め、全庁的に取り組んでいる。(イ)二枚橋を整備される施設での運用を検討中である。(ウ)他自治体の現状や課題の把握が必要と考える。

②市の緑地保全について。10年間で小金井公園の約半分の面積に相当する40ヘクタールの緑が消失した。(ア)生産緑地の指定が切れることで農地の減少が懸念される。対策は。(イ)国分寺崖線周辺の約1ヘクタールの緑地が宅地開発されるが、市の関与は。(ウ)このままでは緑豊かなまちは維持できないと危惧する。市長の見解は。

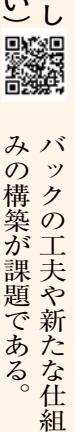
部長 (ア)解除対象生産緑地の94%が特定生産緑地へ移行する。(イ)個人資産の売却についての答弁は控える。

市長 (ウ)民有地の緑の喪失に心を痛めている。緑地の保全に尽力したい。

■その他、新設保育園の環境等について質問しました。

通学路・子どもの安全を地域で守る仕組みを

沖浦あつし (みらい)



(ア)学校、保護者の方々が通学路の安全点検にご尽力され、また、地域の方々から通学安全への要望もある。点検や要望した後の対応等の情報が双方に届いていない感がある。現在の課題は。(イ)危険箇所の抽出、市が行う対策の伝達や情報共有、そして地域ができる対策の協議の場として、実施されているコミュニティ・スクール(以下「CS」)を活用してはどうか。

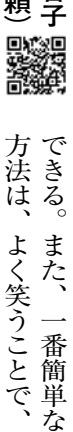
部長 (ア)市、警察、学校、PTA、地域とが改善要望箇所等の情報共有、共通認識を持ち、対策が講じられるよう、市からのフィードバックの工夫や新たな仕組みの構築が課題である。

教育長 (イ)通学路の安全確保には学区域の状況や変化を常に把握する必要がある。学校だけでなく地域の方々の視点が大切である。指摘のとおり、一度課題に上がってもそれが継続したものにならないことも見つけた。通学路の安全確保には継続した話し合いが重要であり、CSも一つの手段と考える。CSは地域の教育力を集約する場や学校から情報発信を行うためだけでなく、子どもの安全確保のためにも有効と考える。

■その他、「小金井市GIGAスクール構想の実践について」を質問しました。

コロナの予防に口腔ケアと免疫力アップを

遠藤百合子 (自民党 信頼)



健康維持に口腔ケア(オーラルケア)の効果を実証されている。生涯にわたる健康の保持・増進に大きく寄与すると言われる、首都大学東京名誉教授の星旦二先生は、健康長寿には口腔ケアが最も大事であり、歯科の主治医のいる人といない人を比べると、いる人の方が長生きであると結論付けている。(ア)口腔ケアが感染症対策に有効であることの更なる周知を。(イ)ヘモグロビン検査を。(ウ)健康維持に免疫力アップが重要。免疫細胞が正常に働ける体温は、36・5度である。36・5度を維持して免疫力アップが期待できる。また、一番簡単な方法は、よく笑うことで、作り笑いだけでも免疫力アップすると言われている。

以上の広報を検討しないか。

部長 (ア)小金井歯科医師会では、歯科医師から見た新型コロナウイルス感染症の対策をテーマに、市民講座を動画配信している。口腔ケアの更なる周知を図っていききたい。(イ)初めての提案ということで、各市の状況等の調査から始める。(ウ)小金井歯科医師会の先生方とも連携を取りながら、口腔ケアの推進について、何ができるのかも含めて検討を続けていく。

■その他、薬物乱用防止の推進について質問しました。

閉会中の委員会日程及び審査案件

議会運営委員会

開催日時：10月20日(水) 午前10時
11月24日(水) 午後2時
審査案件：4件

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会

開催日時：10月29日(金) 午前10時
審査案件：10件

厚生文教委員会

開催日時：11月1日(月) 午前10時
審査案件：16件

※各委員会の審査案件は、QRコードをスマートフォン等で読み取ると、ご覧いただくことができます。



建設環境委員会

開催日時：11月2日(火) 午前10時
審査案件：9件

総務企画委員会

開催日時：11月8日(月) 午前10時
審査案件：5件

行財政改革推進調査特別委員会

開催日時：11月18日(木) 午前10時
審査案件：1件

基本構想審査特別委員会

開催日時：11月22日(月) 午前10時
審査案件：2件

※委員会等の映像については、YouTubeで中継・録画配信しています。



※紙面の都合により、審査案件の掲載は省略しています。

視覚に障がいのある方へ
「声の議会だより」をご利用ください

視覚に障がいのある方を対象に、CD及びデージーCDに市議会だよりの内容を音声で収録した「声の議会だより」をお届けしています。ご家族やお知り合いで視覚に障がいのある方がいましたら、ご利用をお勧めください。ご希望の方は、電話で議会事務局へお申し込みください。

なお、収録はボランティアグループの「小金井市対面朗読の会」のご協力をいただいております。

【対象】
原則として障害者手帳1～6級の視覚障がいのある方(対象者以外でも、図書館本館でご利用いただけます)

【申込】
議会事務局(市役所本庁舎4階)
☎042-387-9947